

令和4年度実施 数理・データサイエンスプログラム自己点検・評価報告

令和5年4月26日開催の数理・データサイエンス教育センター（以下、センター）および令和5年5月8日開催の教育推進機構会議において「数理・データサイエンスリテラシープログラム」「数理・データサイエンス応用基礎プログラム」の自己点検・評価を行った。

【評価点検のための確認事項】

1. 自己点検実施日時・報告者名

本学のデータサイエンスプログラムの科目と自己点検報告者・センター会議での報告日時は以下の通りである。

科目名	自己点検者	点検日時（センター会議の年度・回）
データサイエンス基礎	守 真太郎	2023年3月7日（令和4年度第10回センター会議）
地域学ゼミナール	城田 農	2023年4月26日（令和5年度第1回センター会議）
数学の世界－データサイエンスのための数学－	守 真太郎	2023年4月26日（令和5年度第1回センター会議）
情報処理入門A－データサイエンス発展Ⅰ－	紅林 亘	2022年12月13日（令和4年度第8回センター会議）
数学の世界－データサイエンス発展Ⅱ－	紅林 亘	2022年12月13日（令和4年度第8回センター会議）

数理・データサイエンス応用基礎プログラムにおいて、「数学の世界－データサイエンスのための数学－」については、教育学部の「数学基礎A」「数学基礎B」、理工学部の「理工系の数学A」「理工系の数学B」「微分積分学」による代替も可能としている。教育学部においては学務委員会、理工学部においては点検評価委員会において自己点検がなされているため、センターでは履修状況のみ確認している。

2. 令和4年度自己点検結果について

センター会議および教育推進機構会議において教養教育科目の「データサイエンス基礎」「数学の世界－データサイエンスのための数学－」「情報処理入門A－データサイエンス発展Ⅰ－」「数学の世界－データサイエンス発展Ⅱ－」と「地域学ゼミナール」の実施状況について確認が行われ、問題がないことが確認された。

3. 令和5年度の自己点検体制について

- (1) 「データサイエンス基礎」「データサイエンス数学」「データサイエンス発展Ⅰ・Ⅱ」
各科目の授業実施後にセンターで自己点検を行い、授業内容・シラバス・教材の改善案をまとめる。
- (2) 「地域学ゼミナール」
教養教育開発実践センター長に自己点検報告書を依頼し、センターで点検する。
- (3) 上記(1)(2)についてセンターで点検した結果を、教育推進機構会議において審議する。

注：令和5年度自己点検から科目名は以下となる。

「数学の世界－データサイエンスのための数学－」	→	「データサイエンス数学」
「情報処理入門 A－データサイエンス発展Ⅰ－」	→	「データサイエンス発展Ⅰ」
「数学の世界－データサイエンス発展Ⅱ－」	→	「データサイエンス発展Ⅱ」